

## 平成30年度草津市スポーツ推進審議会 議事要旨

■日時：

平成31年3月18日（月）18時00分～20時10分

■場所：

市役所6階 教育委員会室

■出席委員：

岡本委員、小傳良委員、北川委員、福井委員、嘉悦委員、  
山本委員、高岡委員、速見委員、

■欠席委員：

片山委員、姫野委員

■事務局：

川那邊教育長、竹村教育部長、堀田副部長、  
河合課長、織田課長代理、力石係長、山田係長、谷口主査、西村主任

■傍聴者：

0名

### 1 開会

【川那邊教育長】

本日は、年度末の何かとお忙しい中、草津市スポーツ推進審議会に御出席賜りましてありがとうございます。

日ごろから委員の皆様方には、本市の教育行政ならびにスポーツの推進に格別の御支授と御協力をいただいておりますことを厚くお礼申しあげます。

さて、今年度におきましても、平成32年度までを計画期間とする「草津市スポーツ推進計画」5つの基本方針に基づき、様々な事業に取り組んできたところでございます。特に基本方針1の「子どもの体力向上とスポーツ活動の推進」につきましては、小学校5年と中学校2年の体力テストの結果が先日発表されたところでございますが、小学校5年の男子は、県平均だけでなく全国平均を上回り、女子についても県平均を上回る結果になりました。また、中学2年は男女とも県平均、全国平均を上回っており、男子については、昨年度より平均点が上昇しました。草津市の子どもの体力が向上していることは大変喜ばしいことであり、これは平成27年度から立命館大学スポーツ健康科学部との協働で実施している「草津市体力向上プロジェクト」の成果であると喜んでおります。今後、さらなる体力向上のために、関係機関と連携し取り組んでまいりますので、引き続き皆様のお力添えをお願い申し上げます。

また、他にも「生涯スポーツ活動の推進」、「地域コミュニティによるスポーツの推進」、「競技スポーツの推進」、「スポーツ環境の充実」の基本方針のもとに、本市のスポーツ推進を皆様にお力添えを賜りながら進めております。本日は、今年度の事業実績に基づいた推進計画の点検・評価結果について、委員の皆様方には、様々な観点からご意見をいただき、今後の事業へとつなげてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2 委員自己紹介

---

資料 1

## 3 審議案件

---

(1) 役員の選出について

【事務局】

資料 2 に基づき、草津市スポーツ推進審議会に関する条例について説明

- ▶役員選出 会長に岡本委員を選出  
副会長に小傳良委員を選出

(2) 平成 30 年度草津市スポーツ推進計画の点検・評価結果について

【事務局】

資料 3、3-1、3-2、3-3 に基づき、推進計画の点検・評価結果について説明

- ▶目標にかかる進捗状況について

【会長】

基本方針 2 の生涯スポーツの推進のところで、スポーツ保健課のみでは中高年のスポーツ実施率を上げることはできない。関係課と連携を行わないと数値が上がらない。

【委員】

企業の働き方改革で、私が勤めているところでは、有給休暇が 1 時間単位で取得できるようになった。効率的に仕事を行い、夕方の早い時間や早朝にスポーツをする方が増え、生涯スポーツの推進につながると思う。

基本方針 5 のスポーツ環境の充実のところで、施設の予約状況が見られるのは大変ありがたいと思う。

【会長】

施設予約については課題があり、インターネットで施設予約状況を閲覧できるが、利用申込ができない。社会体育施設単独では難しく、草津市全体としてインターネットで予約状況を閲覧し、利用申込ができるような仕組みを作らなければならない。申込ができればさらにアクセス数が増える。

**【委員】**

基本方針4で、滋賀県民体育大会の総合得点の目標値が95点となっているが、95点を取れば順位は何位になるのか。

**【事務局】**

2位にはなる。本年は、1位の大津市が118.00点、2位の彦根市が87.50点、3位の東近江市が66.50点である。

▶基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

**【会長】**

子どもの体力向上は学校の中での活動と、学校の外での活動が影響している。

**【委員】**

小学校の減塩給食は体力向上につながっているのか。

**【事務局】**

減塩給食については、学校給食センターが全国の基準値を下回る塩分量で工夫をして給食を提供しているが、それが直接子どもの体力向上につながっているかについては調査できていない。

**【委員】**

全国平均では女子が男子を上回っており、滋賀県では男子が女子を上回っているが気にする必要はないのか。

**【事務局】**

男女別に採点基準があり、女子の方の基準が低く設定されているため、男女別に考えていただいた方がよい。

**【会長】**

草津市では体育の授業でプログラムを組んでいるのが特徴である。全国平均トップである福井県では、学校全体で朝の10分間体操を特別にやっている。本市でも検討を行ったが、他の教科との兼ね合いから、体育の授業中に行っていくことになった。

▶基本方針2 生涯スポーツ活動の推進

**【委員】**

「2-(2)-④ くさつ健康はつらつ体操」の項目において、これに加え、「たび丸健幸体操」を行っている。

また、「2-(4)-1 離乳食レストラン」の項目において、希望が多いため平成31年度から実施回数を1回増やすことになった。

**【会長】**

離乳食レストランについては、限界に近い事業実施であるため、来年度から評価を4に上げるよう検討いただきたい。

各学区での取組も重要となるが、各学区の取組状況はどうか。

**【事務局】**

一例として、草津市健幸都市宣言に合わせて、モデル事業を使って健幸について取り組んでいただいている。

**【小傳良副会長】**

スポーツ推進委員協議会で歩こう会を多く実施していただいているが、新たな参加者はいるのか。

**【事務局】**

何度も参加されている参加者も多いが、一方で新たな参加者もいらっしゃる。

**【委員】**

参加者は毎回どのくらいいるのか。

**【事務局】**

1回あたり50名程度である。

**【委員】**

花見、新緑、紅葉をテーマにしたウォーキングでは参加者が多い。JRふれあいハイキングを見て、他府県からも参加いただいている。

**【委員】**

ノルディックウォークにかかる取組はどうなっているのか。

**【事務局】**

各学区のまちづくり協議会からの要請により、くさつ健・交クラブが出前講座に出動いただいている。ノルディックの大会としては、11月に開催したくさつ健・交クラブ以外は行っていない。

平成30年度に滋賀県ノルディックウォーク連盟が立ち上げされ、草津市の方が事務局を持っている。また、そういったつながりから老人クラブ連合会にもノルディックウォークを普及いただいている。

このことを含め、14学区のスポーツに関する取組状況を把握し、報告させていただくようにする。

**【会長】**

ランニングイベントの開催について、実施に向けた働きかけを行う必要がある。初級段階としてのランニングイベントをどのように取り組んでいくのかが課題である。

**【委員】**

ウォーキングからジョギングへという形で、初心者がランニングに取り組めるようにすればよいと思う。

▶基本方針3 地域コミュニティによるスポーツの推進

**【委員】**

地域スポーツクラブはあらゆるスポーツを行うのか。

**【事務局】**

地域スポーツクラブとは、住民の方が身近にスポーツに参加していただく場を自ら運営していただいているものである。学区によって異なるが、例えば志津スポーツクラブでいうと、約150人の登録会員が、卓球、バドミントン、ソフトバレーボール、ニュースポーツ、けん玉、皿回しなどに取り組んでいただいております、幼児から高齢者まで参加いただいている。

**【会長】**

スポーツという言葉において、ウォーキングをスポーツと理解するか、それとも運動と理解するか。

**【委員】**

運動だと思う。

**【会長】**

スポーツというキーワードがアンケートを取ったときに何をイメージされるのか。スポーツと運動を区分して理解をされることもある。

**【事務局】**

茨城国体ではeスポーツを文化プログラムで行われることが決まっている。スポーツの定義づけを共有することは難しい。

**【会長】**

スポーツの定義づけについては、大きな課題である。スポーツのとらえ方については、次期計画でも検討する必要がある。

**【委員】**

ルールや基準があるものがスポーツであるという意識を持っていたが、そういった概念は古いのか。

**【会長】**

厚生労働省では、個人で行うウォーキング、ジョギング、ラジオ体操もスポーツである。学校体育のイメージが強く、考え方が混在している。

▶基本方針4 競技スポーツの推進

**【会長】**

立命館大学陸上部員として、立命館大学の選手たちが滋賀県の選手登録をしていくことは可能と思うか。

**【委員】**

国体出場のために滋賀県登録に変えた選手もいるが、それほど多くはない。

**【委員】**

京都府と大阪府は（滋賀県と）人口規模が違う。選手育成を考えると選手が京都へ流れる傾向にある。

**【委員】**

立命館大学自体が京都府登録になるが、滋賀で練習しているので複雑である。

**【会長】**

滋賀県民体育大会の点数を上げるには、(立命館大学の選手が)草津市の選手として登録をし、出場する必要がある。

**【会長】**

この何年間は、指導者の体罰問題が中心となっており、本来やらなければならない講習が全国的に疎かになってきているので、講習を進めていかなければならない。

**【委員】**

アスリート育成の観点で、立命館大学には世界レベルで活躍している選手がたくさんいるので、小中高生と一緒に練習をすることは有効だと思う。現状として、立命館大学BKCのクインスタジアムで、県内の高校生が練習しているにもかかわらず、大学生とは別メニューで練習をしている。一緒に練習するような機会を設ければ、競技力は上がると思う。

**【事務局】**

ジュニアスポーツフェスティバルでは、立命館大学のキャンパスを借りて、子どもたちにトップアスリートとの交流機会を設けているが、年1回しかないので、国体に向けて何か仕掛けができればと思う。

**【事務局】**

大学生と一緒に練習するとなると高校生ぐらいのレベルになるのか。

**【委員】**

競技によって様々であると思うが、中学生でも強い選手もいる。トップアスリートを育てる面では、中高生と一緒に練習をした方がよいと思う。

**【委員】**

滋賀県の子どもでいい選手は、中学生になると他府県へ出てしまう。なかなか滋賀県や草津市で選手を育てにくい。他府県へ出てしまう子どもを引き留めたいが、滋賀県には指導者が少ないため難しい。また、指導者自体の年齢が上がってきており、指導者の技術がついていけないのが現状である。立命館大学の選手を大切にし、指導していただけるよう努力をしないといけない。

▶基本方針5 スポーツ環境の充実

**【会長】**

学校体育施設の開放は、地域との連携がかなり重要である。評価が4になっているが、来年、再来年のクラブ運営校を増やしていかなければならないという課題がある。

また、企業のグラウンドを借りることは入室管理を含めて難しい。

**【委員】**

企業の施設を借りるとするのは、企業自体が運動部を廃止するところが多いため、体育館やグラウンドを取ることが少ない。

(3) 平成31年度予算について

**【事務局】**

資料4に基づき、平成31年度当初予算（案）について説明

▶意見なし

▶デモンストレーション競技について

**【会長】**

国民スポーツ大会のデモンストレーション競技について、アイデアがあれば事務局の方へお願いしたい。福井国体では、ラジオ体操やウオーキングなどのニュースポーツをプログラムに入っていた。それぞれの市町のいいところや取り組める種目を取り入れ、草津市として何を取り組んでいくのかを考える必要がある。デモンストレーション競技に制限はない。デモンストレーション競技をやることで草津市全体が健康スポーツや競技スポーツに意識を向けていくきっかけになると思う。

**【委員】**

スポーツ協会加盟団体でないとデモンストレーション競技を実施できないのか。

**【事務局】**

スポーツ協会加盟団体もしくはスポーツ協会が認定した団体であれば、実施可能である。

## 5 閉会

---

**【竹村教育部長】**

本日は、長時間にわたり御審議をいただきましてありがとうございます。

委員の皆様方には、大変貴重な御意見を多くいただきましたことを厚くお礼申し上げます。

本市では、健幸都市づくりにむけたスポーツを通じた健康づくり、2024年開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた競技力向上や施設整備など、本市におけるスポーツに対する機運を一層高めていく必要がございます。

来年度につきましても、本日いただきました御意見を参考にしながら、関係機関をはじめ、スポーツにかかわる関係団体の皆様との連携をさらに強化し、推進計画に掲げた施策を具現化し、推進計画の基本理念である“ALLくさつ”でつくる『みんながスポーツ大好きなまち くさつ』の実現に向けて、本市のスポーツ健康づくりをより一層推進してまいりたいと考えておりますので、引き続き、御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます、閉会の挨拶とさせていただきます。